

はじめに、図書の寄贈についてお伝えします。既にホームページや学校だよりでお知らせした通り、10月30日、都路町観光協会の皆様から、「都路町の歴史観光漫画 於北姫（おきたひめ）と都路」を全校生と職員に寄贈いただきました。この本の編集と写真を担当した会長の武田さんから、「先人の遺した歴史・文化遺産を後世に伝えたいとの思いからこの本を編集・発行したので、ぜひ若い世代の皆さんにこそ読んでほしい」とのお話をいただきました。この後、私から代表生徒に図書の贈呈をします。ぜひ時間を見つけてこの本に目を通し、都路町のルーツについて理解を深めてください。

次に、「M1グランプリ」についてです。12月7日の授業参観では、皆さんのこの1年の学びの成果を、ポスターやプレゼンで発表する「M1グランプリ」を実施します。「M1」の「M」は、「未来」「都路」「じぶん（Myself）」「見つめる」の頭文字「M」を意味しています。「M1グランプリ」を通して、自分自身と対話し、どうやったら相手に自分の学びや考えがよりよく伝わるかを学んでください。授業参観当日は、各学年から選ばれた代表生徒のプレゼンを全校生と保護者の皆さんで聴き、最も優れたプレゼン、即ち「M1」を選んでももらいます。また、代表生徒以外のポスターも校内に掲示して参観してもらい、優れたポスターを選んでももらいます。皆さんの健闘を期待しています。

今シーズンから、アメリカ・メジャーリーグに挑戦し、アメリカンリーグ新人王に見事選ばれた大谷翔平選手が、先日の記者会見で次のように述べていました。「メジャーリーグは、人間として素晴らしい選手が多いと感じている。素晴らしい選手は、雰囲気や人との接し方でも見習うべきところが多く多い。アメリカのメジャーは、野球も文化も、日本とは全て違う。総合的なレベル、パワー、技術、スピードは本当に高い。」日本にいても相当な活躍が期待できたにもかかわらず、アメリカという異国の地で野球をすることを選んだ大谷選手は、怪我というリスクを負いながらも、日本では決して目にすることのできない新しい世界と出会い、お金では買えない貴重な経験や学びをしています。

私は、高校で野球をやらなかったことを、大学や社会人になってから、様々な理由で後悔しました。現在の高校生にとっては、課外活動において部活動がすべてではありませんが、挑戦する価値があるということに異論はありません。皆さんの中には、高校では部活をやるかどうか悩んでいる人もいるかもしれませんが、部活動に限らず勉強以外の課外活動は絶対にやった方がいいと、やらないで後悔している私が断言します。極端な言い方ですが、経験値は偏差値を凌駕します。部活でも、生徒会でも、ボランティアでも、留学でも、コンテストでも、創作活動でも何でもいい。目先のことに囚われすぎず、高校でも新しい世界にチャレンジして、幅の広い、質のいい経験をたくさん重ね、大谷選手と同じように、一段も二段も高いレベルの経験や学びを見て、聞いて、感じてください。

高校野球から逃げたという後悔の念が、社会人になってからの私を後押しして、「失敗を恐れず、新しいことにチャレンジしろ」という心の声に転換されていることを鑑みれば、後悔することも悪いとばかりは言い切れないかもしれません。ビルや橋のように、目に見えて人の役に立つものを創り上げるなどできない私ですが、少なくとも「未来」を創る仕事をしているという自負を忘れずに、教職という仕事の責任の重さを感じながら、皆さんや先生方、保護者や地域の皆さんと共に、これからも探究的な学びを続けていきたいと思えます。

まもなく師走です。寒さに負けない、皆さんの熱い活躍を期待します。